

## 海岸防災林植樹活動者への技術研修会を開催しました

(公社)福島県森林・林業・緑化協会



講師の田中賢治氏

平成28年3月11日(金)、午後1時から相馬市総合福祉センター第3会議室と相馬市磯部大洲国有林において、昨年度及び今年度の関東森林管理局と福島県がそれぞれ公募した植樹等の活動に応募して植樹した団体と企業、及び今年度それぞれの公募に応募した3団体4企業から出席した22名を対象に、「海岸防災林植樹活動者への技術研修会」を開催しました。



主催者挨拶(当協会 渡邊常務理事)



熱心に聴講する出席者

室内研修では、日本海岸林学会役員の田中賢治氏から「海岸防災林再生の重要性について」質疑応答を含めて約60分間ご講演いただきました。続いて福島県森林保全課の渡部主任主査から「海岸防災林の植栽の留意事項について」15分間説明していただきました。



留意事項説明（森林保全課 渡部主任主査）



植栽方法の説明を受ける出席者

室内研修終了後、出席者はバスで相馬市磯部字大洲国有林に移動し、そこで磐城森林管理署中澤署長と井坂森林技術指導官の2人の講師からクロマツコンテナ苗（以下、コンテナ苗という）の植栽方法について具体的に説明を受け、さらに実際に植栽をしていただきました。

出席者はお二人の指導を受けながら実際にコンテナ苗を植栽しました。苗を植栽する基盤（盛土したところ）は必ずしも軟らかいとは限らないため、井坂森林技術指導官は出席者にスコップや移植ベラ、ディブル（コンテナ苗専用の植付機）等を用いてそれぞれの特徴を説明し、その後に移植ベラやディブルを用いてコンテナ苗を植栽しました。中には初めてコンテナ苗を植栽した方もいらしたようで、感慨深く苗を見つめる姿が印象的でした。